

**講演「あきらめない心」**

～平成国際大学ウエイトリフティング部選手の取組から～

校種・学年		小学校・第5学年			教科等	特別活動
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	2時間 2学期(11月)
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	プロジェクター、放送機器 スクリーン

**1 プログラムのねらい**

- 平成国際大学でウエイトリフティング競技の練習に励む選手がいることを知る。
- 目標に向かってあきらめずに取り組むことの大切さに気付く。

**2 プログラムと既存の学習との関わり**

- 本校児童は、「自分の目標に向かって最後まであきらめずに取り組む」ことに課題が見られる。本講演を通して、挫折を経験しながらも目標に向かって挑戦する選手の姿から、あきらめずに取り組むことの大切さを学び、自分の生活に生かすことができるようにする。そして、自己の生き方について考えを深め、自己を生かす能力を養い、豊かな人間性や社会性を育むことを期待している。

**3 指導計画(1.5時間扱い)**

時間	主な学習活動・内容等
1.5	1 講演「あきらめない心」(本時) ・平成国際大学ウエイトリフティング部 監督 野澤雄一 様
事後	2 「講演をとおして学んだ(感じた)ことをまとめよう」

**4 本時の学習指導(本時 1/1)**

時間(分)	学習活動	支援・留意点等
5 80 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○始めの会(講演者紹介等)</li> <li>○講演「あきらめない心」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイトリフティング競技について(実演)</li> <li>・平成国際大学出身のオリンピック選手</li> <li>・安藤美希子選手のオリンピック出場までの道のり</li> </ul> </li> <li>(中学校まで体操競技で活躍。高校でウエイトリフティングをはじめる。高校1年で日本一となるが、高校3年で膝を手術する。その後、リハビリに励み、日本記録更新。リオオリンピック出場)</li> <li>○終わりの会(感想発表等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演内容について、事前に打合せをする。</li> <li>○選手による実演と講演を合わせて行う。</li> <li>○バーベルを使用するため、安全面や床面の損傷等に注意する。</li> </ul>

**5 おすすめのポイント(さらに、効果アップ!)**

- 講演に加え、安藤選手(リオオリンピック出場)から、メッセージビデオをいただいた。実際のアスリートからの言葉は、児童の心を揺さぶるものであった。
- 今回は、ウエイトリフティング競技を通して講演を行ったが、今後も平成国際大学との連携を図っていくことにより、キャリア教育の面でも効果があると思われる。